平成25年度 第1回天王寺区区政会議 次第

日時：平成25年7月30日(火)19時～21時

場所：天王寺区役所 3階 講堂

1 開会

2 区長あいさつ

3 委員紹介

4 議題

(1) 議長・副議長の選任

(2) 平成24年度天王寺区運営方針の実績・評価について

(3) 区政戦略会議からの報告について

5 閉会

天王寺区 区政会議 委員名簿（五十音順、敬称略）

家田 裕光	区青少年指導員連絡協議会
生駒 周三	区老人クラブ連合会
石川 武	区身体障害者団体協議会
出水 季治	公募委員
内本 智香	公募委員
岡田 安弘	区商店会連盟
川上 亀雄	区民生委員協議会
河村 良平	公募委員
神崎 智榮	公募委員
栗谷 信之	公募委員
栗谷 良子	区母と子の共励会
越村 真己子	公募委員
小西 丕	区社会福祉協議会
小林 千代野	区地域女性団体協議会
酒井 建志	公募委員
渋谷 真奈美	公募委員
田中 誠悟	公募委員
田中 創三郎	公募委員
田中 英俊	公募委員
田淵 康裕	公募委員
出村 肇	公募委員
頓名 光二	区PTA協議会
中井 基晴	公募委員
中野 明男	区地域振興会
西本 達哉	区歯科医師会
野口 勝子	区健康づくり推進協議会夕陽の会
原田 久仁彦	公募委員
原田 恵子	公募委員
原田 照久	公募委員
飛田 裕	公募委員
三浦 由美子	区食生活改善推進員協議会
三木 ひとみ	公募委員
南 志朗	区子供会育成連合協議会
山里 盛幸	公募委員
大和 一人	区スポーツ推進委員協議会

経営課題1 【災害に強く犯罪の少ない安全安心なまちづくり】

各項目の今後の方向性

【継続して推進】

都市基盤施設の維持管理(1-5)

【具体的取組を見直し】

防災機能の強化(1-1)、自助・共助の取組の促進(1-2)、防犯対策の推進(1-3)、放置自転車対策・自転車利用ルール遵守意識の徹底(1-4)、子育て支援活動の推進(1-6)、高齢者見守り体制の構築(1-7)

1-1 住民に身近な防災機能の強化

めざす成果の達成状況

() 内は目標

- 区役所で防災計画が策定されていることを知っている区民の割合 38.9% (平成26年度までに 80%)
- 収容避難所の場所を知っている区民の割合 77.9% (平成28年度までに 70%)

具体的取組の実施状況 (主なもの)

() 内は目標

予算額 (決算額)

- 区防災計画の策定 策定 (策定) 該当経費なし
- 収容避難所の新規指定 4か所 (2か所以上) 該当経費なし
- 収容避難所への備蓄物資の配置 6か所 (6か所) 3,654千円 (3,127千円)

- 策定した区防災計画の概要版を作成し広く区民に周知するなど、区民一人ひとりの災害対策リテラシー（災害を理解し対応する能力）の向上を支援し、区民の自助力の強化を図っていきます。
- 収容避難所の新規指定により収容人員の不足が解消され、量的な充足を一定達成したことから、女性のための避難スペースの確保、福祉避難所の拡大、備蓄物資の充実といった質的充足に向けた取組みを推進します。

1-2 災害時における自助・共助の取組の促進

めざす成果の達成状況

() 内は目標

- 災害時の持ち出し品等の用意率 世帯数の 57.7% (平成28年度 50%)
- 家具の固定率 世帯数の 58.0% (平成28年度 50%)

具体的取組の実施状況 (主なもの)

() 内は目標

予算額 (決算額)

- 防災フォーラム 3中学校下で各1回 (3中学校下で各1回) 該当経費なし
- 家具固定ワークショップ 8回 (8回) 1,084千円 (794千円)
- 収容避難所開設・運営訓練等 新規実施 2 連合振興町会実施 (2 連合振興町会)
2 回目の実施 3 連合振興町会実施 (3 連合振興町会)
1,080千円 (608千円)

高齢者のみの世帯などでは、家具固定の必要性を認識しているものの、ご自身で家具を固定することが難しいとの声が多く寄せられたことから、家具固定ワークショップを見直し、高齢者のみの世帯等を対象に、実際に器具の取付けを行う「**家具転倒防止器具取付事業**」を実施します。

1-3 区内の発生状況に応じた効果的な防犯対策の推進

めざす成果の達成状況

- ・安全・防犯意識が高まったという人の割合 50.5% (平成 26 年度 70%) () 内は目標
- ・街頭犯罪発生件数 655 件 平成 23 年比 ▲18.2% (平成 26 年 23 年比 ▲30%)
※平成 23 年は 801 件

具体的取組の実施状況 (主なもの) () 内は目標

予算額 (決算額)

- ・防犯フォーラム 1 回 参加者数 105 名 (1 回 参加者数 200 名以上) 439 千円 (8 千円)
- ・パトロール活動等の支援 未形成 (青色防犯パトロール新規 2 グループ) 974 千円 (161 千円)
2 グループ (夜間パトロール新規 4 グループ)
- ・街頭犯罪対策
二つ目のカギ取り付け 21 回 1,084 台 (25 回 2,500 台) 702 千円 (231 千円)

具体的取組の達成状況が必ずしも順調とはいえないことから取組内容を見直すこととし、犯罪抑止効果が期待できる防犯カメラの公設置や、小学生を対象とした防犯教室の開催に取り組みます。

1-4 放置自転車対策、自転車利用についてのルール遵守意識の徹底

めざす成果の達成状況

- ・区内の鉄道駅周辺の放置自転車台数 436 台 前年比▲10 台 (平成 28 年度 ゼロ台) () 内は目標
- ・自転車関連事故件数 220 件 前年比+14 台 (平成 26 年 103 件 ※23 年 206 件を半減)

具体的取組の実施状況 (主なもの) () 内は目標

予算額 (決算額)

- ・啓発活動「ゆめまちロード OSAKA 寺田町」 2 回 (2 回) 該当経費なし
- ・自転車免許講習会 8 校 (8 校) 156 千円 (57 千円)
- ・自転車安全教室 参加者数 50 人 (参加者数 300 名以上) 1,217 千円 (219 千円)

自転車関連事故件数の減少に向け、自転車マナー、モラルの向上に資する啓発手法を検討し、より効率的・効果的な取組となるよう具体的取組の見直しを行います。

1-5 都市基盤整備施設の維持管理

めざす成果の達成状況

- ・「道路・公園を安心して安全で快適に利用できる」と感じる区民の割合 () 内は目標
59.2% (割合の増)

具体的取組の実施状況 (主なもの) () 内は目標

予算額 (決算額)

- ・道路：緊急補修工事の実施 随時実施 (随時実施) 建設局予算
- ・公園：区内全公園の点検 日常点検 8 回 定期点検 2 回
(日常点検 8 回 定期点検 2 回) 建設局予算

目標どおり達成しており、道路・公園を安心して安全に快適にご利用いただけるよう、今後も継続して推進します。

1-6 子育て支援活動の促進

めざす成果の達成状況

() 内は目標

- ・子育てに対する不安や悩みを抱えた子育て世帯で相談先や交流相手がいない世帯の割合
25.7% (割合の減少)

具体的取組の実施状況 (主なもの)

() 内は目標

予算額 (決算額)

- ・子育て愛あいフェスティバル
参加者数 1,100 名 (1,000 名以上) 1,015 千円 (665 千円)
- ・子育てナビゲーションの配付
相談件数 44 件 (40 件以上)
26 枚 (300 枚) 該当経費なし
- ・講演会
1 回 参加者 21 名 (1 回 参加者 60 名以上) 86 千円 (52 千円)

子育てに関する様々な悩みや不安に対して、さらにきめ細かな相談支援に取り組む必要があることから、より効果的な取組となるよう具体的取組の見直しを行います。

1-7 高齢者のひきこもりや虐待の防止・見守り体制の構築

めざす成果の達成状況

() 内は目標

- ・地域とのつながりのない高齢者の割合
15.2% (割合の減少)

具体的取組の実施状況 (主なもの)

() 内は目標

予算額 (決算額)

- ・愛あいふれあいまつり
参加者数 838 人 (1,000 人以上) 370 千円 (301 千円)
- ・ご近所の助け合いネットの構築促進
モデル事例発表会開催 67 千円 (4 千円)
(対象者数の増 新規構築地域の増)
- ・高齢者の見守り体制の構築
調査検討 (調査検討) 該当経費なし

- ・高齢者の相互交流や地域との交流に参加しない独居高齢者、高齢者のみ世帯の見守りが必要であり、現状では十分に行き届いているとは言えません。
- ・区内の 65 歳以上の高齢者の半分近くが独居生活である現状を踏まえ、これまでの取組に加えて
高齢者の見守り体制を構築することとし、「独居高齢者等見守りサポーター事業」を実施し、定期的に安否等の見守り訪問を行います。

経営課題2 【快適でいきいきと暮らせるまちづくり】

各項目の今後の方向性

【具体的取組を見直し】

待機児童解消・青少年の体験活動等・地域の未来を担う人材育成(2-1)、健康づくり(2-2)、生涯学習等(2-3)、人権・男女共同参画意識の高揚(2-4) 障がいのある方への支援(2-5)

2-1 保育所待機児童の解消、子ども・青少年の体験活動や交流の推進・地域の未来を担う人材の育成

めざす成果の達成状況

() 内は目標

・保育所待機児童数	25年4月1日時点	19人	(平成25年度までに解消)
・刑法犯少年検挙・補導件数及び人員		54件 75人	(対前年比減 23年30件 44人)
・天王寺区ジュニアクラブ会員のうち年間1回以上活動に参加する会員		62人	(80人以上 平成27年度)
・子供会会員数		368名	(450名以上 平成27年度)

具体的取組の実施状況 (主なもの)

() 内は目標

予算額 (決算額)

・保育サービスの充実	本園整備 1か所認可、保育ママ事業2か所認可 年度途中入所対策事業3保育所 (保育ニーズに応じ各種事業の実施)	福祉局予算
・天王寺区ジュニアクラブ	ボランティア等の活動5回 (5回)	332千円 (198千円)
・地域の未来を担う人材の育成	方策を次年度予算に反映 (方策案のとりまとめ)	該当経費なし

保育所待機児童の解消に向け引き続き様々な手法を活用して取り組むとともに、社会教育の充実や子育て世帯の負担緩和など、地域の未来を担う人材の育成に一層強く取り組みます。**(中高生向けインターンシップ事業など)**

2-2 区民による健康づくりの促進

めざす成果の達成状況

() 内は目標

・健康診断受診率の向上	69.5%	(60% 平成25年度)
・健康づくりで運動を行っている人の割合の増	44.1%	(25% 平成25年度)

具体的取組の実施状況 (主なもの)

() 内は目標

予算額 (決算額)

・健康診断の受診勧奨	区ホームページ掲載4回、中壮年層への啓発6回、メールマガジン8回 (各4回、6回、4回)	該当経費なし
・健康づくり (ウォーキング)	マップ作成、ラリー4回、講座2回 (マップ作成、ラリー4回以上、講座1回)	210千円 (192千円)

今後も継続して実施するが、健康づくりウォーキングについては、区主催から地域との共催により取組みを進めます。

2-3 心豊かで生きがいを感じられる環境づくり

めざす成果の達成状況

() 内は目標

- ・ 区民が身近に緑に接し憩える場所の創出 モデル実施 1 か所 (平成 27 年度までに 9 か所)
- ・ 自己実現や生きがいづくりに向けた自主的な学習や文化活動を行ったことのある区民の割合 53.2% (平成 28 年度 90%)

具体的取組の実施状況 (主なもの)

() 内は目標

予算額 (決算額)

- ・ 憩いの場「グリーンすぽっと」(仮称) 該当経費なし
検討・モデル実施 1 か所 (検討・モデル実施 1 ケ所)
- ・ 自主的な学習や文化活動の支援 1,583 千円 (1,166 千円)
生涯学習講座年間参加者数 8,154 人 情報提供: 区ホームページ 13 回、広報紙 1 回
(年間参加者数 9,500 人以上、情報提供: 各 15 回、1 回)

効果が限定的であることから、より効率的・効果的な取組となるよう具体的取組の見直しを行います。

2-4 人権意識、男女共同参画意識の高揚

めざす成果の達成状況

() 内は目標

- ・ 人権意識の高まった区民の割合 60.5% (平成 28 年度 40%)
- ・ 男女共同参画意識の理解が深まった区民の割合 15.1% (平成 28 年度 25%)

具体的取組の実施状況 (主なもの)

() 内は目標

予算額 (決算額)

- ・ 講演会 1,912 千円 (1,326 千円)
人権、男女共同とも 1 回 参加者数計 115 名
(人権、男女共同とも 1 回以上 参加者数計 400 名以上)

効果が限定的であることから、より効果的な取組となるよう具体的取組の見直しを行います。

2-5 障がいのある人に対する支援の充実

めざす成果の達成状況

() 内は目標

- ・ 区役所での相談実施の認知度 () 内は目標
イベントでの相談者へのアンケートにより認知度を把握する予定であったが、1 名であったことから指標としては取り扱わず (H24 年 1 月より相談実施。認知度の増加)
- ・ 障がいのある人の社会参加について理解を持つ住民の割合 87.1% (割合の増加)

具体的取組の実施状況 (主なもの)

() 内は目標

予算額 (決算額)

- ・ 区役所における相談の実施 3 回 (1 回以上) 該当経費なし
- ・ ポッチャ大会 143 千円 (141 千円)
地域 3 回、区民大会 1 回 (地域 3 回以上、区民大会 1 回)

地域ポッチャ大会が定着するよう、今後も継続して取り組みます。

経営課題3 【歴史や文化を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり】

各項目の今後の方向性

【継続して推進】

天王寺の魅力発信・集客イベントの促進(3-1)

【具体的取組を見直し】

商店街の活性化(3-2)

3-1 天王寺の魅力の情報発信と集客イベントの促進

めざす成果の達成状況

		() 内は目標
・区内の歴史的・文化的な資産の認知度	83.9% (割合の増加)	
・区役所が行う歴史的・文化的資産の情報発信や集客イベントが十分だと感じる区民の割合	71.6% (割合の増加)	

具体的取組の実施状況 (主なもの)

() 内は目標

予算額 (決算額)

・魅力の情報発信	10回 (10回)	231千円 (231千円)
・「天王寺区のまちのいいところ」募集と情報発信	75点 (100点以上)	246千円 (109千円)
・てんのうじ蕪収穫祭の開催	参加者1,000名 (参加者1,200名)	234千円 (141千円)
・七坂キャンドルナイトの開催 報道機関を通じた情報発信	4回 (3回以上)	1,379千円 (613千円)

大坂の陣400年を迎える平成26年度、27年度に向けて戦略的・継続的な展開が必要な事項であることから、今後も継続して取り組めます。(「戦国博」(仮称)など)

3-2 商店街の活性化

めざす成果の達成状況

		() 内は目標
・商店街に魅力を感じる区民の割合	35.7% (割合の増加)	

具体的取組の実施状況 (主なもの)

() 内は目標

予算額 (決算額)

・活性化事業の支援	4回 (3回以上)	該当経費なし
-----------	-----------	--------

より効果的な取組となるよう手法を検討するとともに、具体的取組の見直しを行います。

経営課題4 【つながり合い、支え合い、助け合うまちづくり～大きな公共を担う

活力ある地域社会をめざして～

各項目の今後の方向性

【継続して推進】

地域活動の活性化支援(4-1)、地域課題の共有と解決に向けた取組支援(4-2)

4-1 多様な協働による地域活動の活性化

めざす成果の達成状況

() 内は目標

- ・日頃から話をする相手が増えたと感じている区民の割合 25.2% (平成26年度までに60%以上)
- ・地域団体の活動内容などを知る機会が増えたと感じている区民の割合 24.3% (平成26年度までに60%以上)
- ・地域活動に参画しやすい環境が整っていると感じている区民の割合 25.8% (平成26年度までに60%以上)
- ・地域のまちづくり活動が様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合 18.5% (平成26年度までに60%以上)
- ・地域の活動において、スキルのある人材が活躍していると感じている区民の割合 13% (平成26年度までに60%以上)

具体的取組の実施状況(主なもの)

() 内は目標

予算額(決算額)

・先進的な地域活動の紹介	3回(3回以上)	該当経費なし
・地域活動協議会間の意見交換	2回(2回以上)	該当経費なし
・つながり合いの大切さの意識喚起	防災課題などの説明会8回(9回)	該当経費なし

近年のマンション建設に伴う新しい住民や若手世代への地域活動への参加を広げるために、中間支援組織と連携した取組が必要な事項であることから、今後も継続して取り組みます。

4-2 連合振興町会エリア単位での課題の共有と解決へ向けた取組の支援

めざす成果の達成状況

() 内は目標

- ・地域運営に様々な活動主体が参画し、地域が一体となって運営されていると感じている区民の割合 5.3% ※地域活動協議会の活動内容を知り、かつ一体となって運営されていると感じる割合 (平成26年度までに80%以上)
- ・適切な中間支援組織による支援を受けることができる環境が整備されていると感じている団体の割合 62% (平成26年度までに60%以上)

具体的取組の実施状況(主なもの)

() 内は目標

予算額(決算額)

・地域活動協議会の新形成	6地域(3地域以上)	該当経費なし
・コミュニティビジネス化、ソーシャルビジネス化の支援	区民説明用資料作成・配付(区民説明用資料作成・配布)	該当経費なし

活力ある地域社会づくりに必要な事項であり、全地域で形成いただいた地域活動協議会の活動について、中間支援組織とも連携し、今後も継続して取り組みます。

経営課題5 【区民の声集約プロセスの強化】

各項目の今後の方向性

【継続して推進】

地域担当制の充実(5-1)、区民意見の区政への反映(5-2)、PDCAサイクルの確立(5-3)、区民の安全安心を担う区役所づくり(5-4)、改革を担い支える職員づくり(5-5)

5-1 地域担当制の充実

めざす成果の達成状況

() 内は目標

- ・地域活動をしている人のうち、区役所が中間支援組織と連携して各地域の実情に応じた一体的・総合的な支援を行っていると感じている区民の割合 15.8% (平成26年度までに80%以上)

具体的取組の実施状況 (主なもの)

() 内は目標

予算額 (決算額)

- ・地域の課題解消に向けた提案

8地域 (6地域以上)

該当経費なし

中間支援組織と連携し、地域との協働により課題解決していくために必要な事項であるため、今後も継続して取り組みます。

5-2 区民の意見を区政に反映させる仕組みの構築

めざす成果の達成状況

() 内は目標

- ・多様な意見やニーズが区役所に届いていると感じている区民の割合 10.9% (平成26年度までに80%以上)
- ・区の区域内の基礎自治に関する施策や事業など区政運営について、計画段階から区民との対話や協働により進められていると感じる区民の割合 9.7% (平成26年度までに80%以上)
- ・区の区域内の基礎自治に関する施策や事業など区政運営について、多様な区民による評価が区に届いていると感じている区民の割合 10.6% (平成26年度までに80%以上)

具体的取組の実施状況 (主なもの)

() 内は目標

予算額 (決算額)

- ・区政会議の開催

6回 (3回)

933千円 (306千円)

- ・戸別訪問による区民の声(あなたの声をつなげ隊)集約

該当経費なし

意見集約テーマ：学校選択制 1,183件 対象世帯の29.1% (意見集約テーマ対象世帯の70%)

多様な区民の声を区政に反映させるために必要な事項であるため、今後も継続して取り組みます。

(あなたの声をつなげ隊など)

5-3 地域の特性・事情に即した施策・事業の展開とPDCAサイクルの確立

めざす成果の達成状況

	() 内は目標
・基礎自治に関して、特色ある施策・事業が展開されていると感じている区民の割合	51.7% (平成26年度までに80%以上)
・区長の顔や名前を知っている区民の割合	58.9% (平成26年度までに60%以上)
・日常生活に関する様々な相談や要望について、区役所が適切に対応していると感じている区民の割合	62.1% (平成26年度までに80%以上)

具体的取組の実施状況 (主なもの)

() 内は目標

予算額 (決算額)

・把握した区民の意見・評価の反映	適宜 (適宜)	該当経費なし
・施策・事業の説明を様々な媒体・機会に発信 所信表明演説1回、区ホームページ6回 広報紙2回 (区ホームページ6回 広報紙2回)		該当経費なし

多様な区民の声を区政に反映させるために必要な事項であるため、今後も継続して取り組みます。

5-4 区民の安全・安心を担う総合拠点としての区役所づくり

めざす成果の達成状況

	() 内は目標
・区役所で防災など危機事象ごとの計画やマニュアルが作成されていることを知っている区民の割合	38.9% (平成26年度までに80%以上)

具体的取組の実施状況 (主なもの)

() 内は目標

予算額 (決算額)

・区防災計画の策定	策定 (策定)	該当経費なし
-----------	---------	--------

区民の命を守るために必要な事項であるため、今後も継続して取り組みます。

5-5 改革を担い支える職員づくり、人材マネジメント

めざす成果の達成状況

	() 内は目標
・仕事にやりがいを感じている、ある程度感じている職員の割合	87.9% (平成26年度までに90%以上)
・効果・効率的に業務を進めるため職員どうしの協力・連携がとれている職場である、どちらかといえばそうであると感じている職員の割合	75.8% (平成26年度までに80%以上)

具体的取組の実施状況 (主なもの)

() 内は目標

予算額 (決算額)

・基本方針の策定	策定 (策定)	該当経費なし
----------	---------	--------

職員が市民満足を高める能力を身につけるために必要な事項であるため、今後も継続して取り組みます。